

会議の開催結果について

- 1 会議名 令和7年度 第1回 上尾市立中学校部活動地域移行
推進協議会
- 2 会議日時 令和7年6月30日(月)
午前・午後 10時00分 から
- 3 開催場所 上尾市青少年センター 会議室2・3
- 4 会議の議題
 - (1) 令和6年度 事業実績について
 - (2) 令和6年度 地域クラブ活動実証事業について
 - (3) 令和7年度 事業計画について
 - (4) 令和7年度 地域クラブ活動実証事業について
- 5 公開・非公開の別 公開
- 6 非公開の理由 無し
- 7 傍聴者数 0人
- 8 問い合わせ先 上尾市教育委員会学校教育部指導課
(担当課) 048-775-9672

議事の経過

発言者	議題・発言内容・決定事項
只限委員長	<p>この令和7年度 第1回 上尾市立中学校部活動地域移行推進協議会は、審議会等の会議の公開に関する指針の3会議の公開により、公開するものとなりますが、委員の皆様には御賛同いただけますでしょうか。</p> <p>では公開の協議会とさせていただきます。事務局、本日、傍聴の申し出はございますか。</p>
事務局	<p>本日の傍聴の申し出はありません。</p>
只限委員長	<p>それでは、最初に報告をいただきます。</p> <p>まず、報告（1）令和6年度事業実績及び（2）令和6年度地域クラブ活動実証事業実績について、事務局より報告願います。</p>
事務局	<p>それでは 報告（1）令和6年度事業報告について説明いたします。</p> <p>資料の説明の前に、改めて事業推進の背景について確認をさせていただきます。</p> <p>部活動の地域移行とは、部活動を学校主導から地域主導へ移行することです。</p> <p>令和2年9月に、文部科学省より「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」が示され、令和5年度以降の休日の学校部活動を、段階的に地域クラブ活動に移行していくことが発表されました。</p> <p>スポーツ庁及び文化庁は、令和7年度までを「改革推進期間」とし、令和8年度以降を改革実行期間として「休日」の学校部活動の「地域クラブ活動への移行」を行うこととしています。</p> <p>なお、令和7年5月に、スポーツ庁及び文化庁が組織した「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」最終とりまとめが公表され、今後、地域移行という文言を、「地域展開」と改めることが示されました。但し、現時点では、スポーツ庁等からの通知が来ておりませんので、本日の事業説明につきましては「地域移行」という文言でそのまま説明をさせていただきます。</p> <p>国が部活動の地域移行を進める理由は、大きく2点です。1点目は、少子化の進展により、今までと同様の「学校単位での部活動運営」が困難になっていること。また、2点目として、これまで教員が、「当該種目の経験」に関わらず指導してきた部活動を「地域主導に移行」することで、</p>

教員の負担軽減を図る目的もございます。

このことは、国と同様、本市でも「教育現場における大きな課題」となっており、部活動の地域移行を「推進する大きな理由」となっております。

国は、各自治体に対し、今後は、休日の学校部活動を地域クラブ活動として運営し、参加生徒が、顧問教員の異動等に関わらず、継続的に専門的な指導を受け続けることができるとともに、通学する学校の「部活動種目に左右されない」、様々なスポーツ・文化芸術活動を体験できる体制を構築することを求めています。

なお、部活動の地域移行については、「まずは休日から取り組むこと」とされており、当面の間、平日の学校部活動は、現行の体制が維持されることとなります。

上尾市教育委員会では、令和8年8月を休日の地域クラブ活動完全実施時期と定め、徐々に休日の学校部活動を縮小しつつ、地域クラブ活動へのシームレスな移行を完了するための取組を進めております。

それでは、最初に本資料1ページ、資料1を御覧ください。令和7年6月30日時点、本事業に係る事業実績一覧となります。詳細につきましては、別冊資料①「令和6年度 事業実績報告書」としてまとめさせていただきました。本日はいくつかの事業について抽出して説明をさせていただきます。

最初に、別冊資料①3頁を御覧ください。

(1)「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針」の策定についてでございます。教育委員会では、本協議会を中心に作成した基本方針(案)について、令和6年5月定例会において審議・決議を行い、基本方針を策定いたしました。本日配布しております別冊資料②が該当資料となります。

第3章では、新たな地域クラブ活動「AGEO地域クラブ」の基本構想を示しました。

令和6年度以降は、基本方針が示す体制づくりを進めております。

次に4頁(3)アッピー部活動コーチ・アッピー部活動サポーターの配置についてです。令和5年度より、部活動の単独指導・引率が可能な部活動指導員である「アッピー部活動コーチ」を、国、県からの補助を受けつつ、全校に配置をしております。また、当該部活動の技術的指導を担当する外部指導者「アッピー部活動サポーター」を配置する事業も実施しております。

次に6ページ(4)先進地視察・各種研修会への参加について御覧ください。

昨年度は、国の重点地域として指定を受ける新潟県、茨城県で開催されたシンポジウムに参加し、先進的な取組等について調査研究を行いました。

続いて、11頁(7)「上尾市地域クラブ活動ミーティング」の開催について御覧ください。

令和5年度に引き続き、地域や保護者の皆様と、本市における最適な地域クラブ活動の在り方を検討すること等を目的に、地域クラブ活動ミーティングを開催いたしました。

昨年度は、学期に1回ずつ、形式や会のネーミング等も工夫しながら、3回にわたり実施いたしました。どの会も、参会者の皆様には、意見交換等に主体的にお取り組みいただきつつ、課題に対する手立ての案を御検討いただくなど、有意義な会とすることができました。

続けて、報告(2)令和6年度 地域クラブ活動実証事業実績について御報告いたします。

昨年度実施いたしました主な実証事業は、スポーツに係る「AGEO地域クラブ」実証事業と、文化芸術に係る上尾市英語クラブ「イングリッシュサロン」事業となります。

それぞれ、令和6年9月から令和7年3月までの7か月間にわたって実証を行いました。

最初に「AGEO地域クラブ」実証事業について御説明いたします。

昨年度、地域クラブとして開設した種目は、7種目となります。

参加者募集の結果、両クールともに、計340名を超える生徒に御参加いただきました。なお、一部種目につきましては、会場規模等の関係で募集を途中で停止した種目もございます。

「AGEO地域クラブ」実証事業では、これまでの実証の成果を生かし、各地域クラブ活動が異なる運営方式を取るのではなく、同条件下で複数種目が実施される体制を目指しました。そして、運営事業者としてのAGEO地域クラブ代表者会議を発足させ、全種目を統括するコーディネーターを配置したところでございます。

また、AGEO地域クラブ統括コーディネーター業務は、運営ノウハウに長けた民間事業者に委託いたしました。なお、委託業者は市内所在の総合型地域スポーツクラブ NPO法人サンワエナジークラブとなります。

指導者数は、59名で、このうち、市内中学校に在籍する教員が兼業許可を受けて地域クラブでの指導に従事したケースは15名となります。教育委員会では、国の手引きに従い、許可の可否を判断する基準を設けてお

ります。

参加費（受益者負担額）については、1回につき300円といたしました。また、参加費徴収をキャッシュレスで行うため、スクール運営プラットフォームアプリである「スGRAM」を導入いたしました。

なお、昨年度の事業実施に当たり、統括コーディネーターから企業協賛を依頼したところ、北本市所在の株式会社エージェント様、東京都所在のナガセケンコー株式会社様から、それぞれ費用協賛、物品協賛をいただくことができました。

次に、効果検証アンケートの結果についてでございます。参加者アンケートより、「AGEO地域クラブでの活動に参加して良かった」と回答した生徒の割合は、97%であり、多くの生徒が指導者の教え方が上手だと感じた、他校の友達との交流が楽しかったと回答しておりました。保護者にも伺いましたが、概ね好評をいただけたようでございます。参加費額については、できるだけ低廉安価な価格を望まれているようです。

困ったこと等を生徒に聞いてみましたが、「会場までの距離が遠い」という、拠点が1つであったことへの不満が多く上がっておりました。上尾市内11校から生徒を集めることに際し、各地域に拠点を設ける必要があると感じたところでございます。保護者の願いとしては、「専門的で丁寧な指導を受けられること」「保護者が送迎することがない環境整備」等が挙げられています。

こうした結果を踏まえ、AGEO地域クラブでは、設置種目数、種目ごとの拠点数の増加を図り、実施規模を拡大すること、活動の充実を図ること、そして持続可能な運営体制を構築することが必要であると認識したところです。

次に、上尾市英語クラブ「イングリッシュサロン」事業について説明いたします。

参加者につきましては、6拠点で計106名となりました。運営につきましては、ノウハウに長けた民間事業者に委託を行いました。

参加児童生徒を対象に実施したアンケート調査の結果につきましては、資料29頁移行に掲載しております。

参加生徒の満足度は、99%となっております。参加者からは、「ALTとたくさん話すことができる」、「楽しく活動ができる」、「今までの習い事で一番楽しい」というコメントがありました。保護者からも、満足度96%という高評価をいただいております。

今後の課題といたしましては、「保護者が活動内容を見ることができ

機会」の設定や「資格試験対策」、「英語力の差への対応」、「委託業者と家庭との連絡方法」、「持続可能な事業とすること」等が挙げられておりますので、今年度事業での解決を図りたいと考えております。

最後に、別冊資料①、31頁以降を御覧ください。

「AGEO地域クラブ」実証事業、上尾市英語クラブ「イングリッシュサロン」事業とは別に、市独自のモデル事業として取り組んだチャレンジ事業実績についてまとめてございます。

本事業は、次年度以降の種目数拡大と基本方針に掲げる「多様目」「多志向」「インクルーシブ」な環境づくりに向けた取組として実施したものです。どの事業も、多くの参加者、指導者からもご好評をいただけており、次年度のに向けた着実なステップを踏むことができたことを御報告いたします。

報告（１）（２）に関する説明は以上となります。

只隈委員長

今年度は、新たに、主幹教諭等が参加する「部活動地域移行推進タスクフォース」を新設したとのことですが、現場の声を大切にしようという姿勢が良いと思います。いろいろな意見を吸い上げながら、どのような役割分担をしていくか等を考えていくことは、大切なことです。子供たちファーストで考えるのはもちろんですが、先生方の働き方改革についても忘れてはいけないと思います。また、地域クラブの指導者が、条件や環境の良いところに行くのは当たり前のことです。AGEO地域クラブが、昨年度の実績等を踏まえながらさらに良くなっていくため、慎重な協議をしていく必要があると思います。

熊田委員

私は、AGEO地域クラブの陸上競技に関わらせていただきました。子供たちの姿としては、人間関係づくりという視点で、大変望ましい姿であったと感じています。また、そのことが子供たちのやる気につながり、複数校の生徒が参加する地域クラブならではの好循環が生み出されていると思います。各中学校に、陸上競技専門の指導者を配置できないこともあり、日頃からきめ細やかな指導は難しい現状はありますが、地域クラブで学んだことを平日に活かしていくというとても良い流れができてきていると感じています。

萩原委員

地域クラブによる中体連主催大会等への参加についての方向性が導き出せていないことについて、関係者として、どうなるか心配なところがあ

	<p>ります。しかし、休日に学んだことを平日に生かすという流れは、子供には良い循環となっていると思います。</p>
金子委員	<p>「イングリッシュサロン事業」について、英語に興味関心が高い生徒が集まり、発表等の事故のニーズに合った良い活動ができていると感じています。参加へのハードルが高くないので、今後も継続してほしいです。</p>
高山委員	<p>本事業に係る動き出しについて、上尾市の取組は非常に評価できるものと考えています。自然の流れで地域クラブ活動に参加したという保護者も多かったようです。また、上尾市は、運営等に市の教育委員会が関わっている点もとても良いと感じています。多様な視点から様々な取組が工夫して行われており、良い循環となっています。指導者への謝金をしっかり払っている点も素晴らしいと思います。</p>
只隈委員長	<p>本日は、昨年度7カ月に渡り、AGEO地域クラブの運営を行った、サンワエナジークラブの沼田理事にも参加していただいています。振り返ってみて、いかがですか。</p>
沼田コーディネーター	<p>昨年度から統括コーディネーターとして関わっていますが、昨年度は、参加者や指導者に大きな怪我が無く終わったことが一番安心しているところです。今年度は、昨年度より経費がかかるため、保護者の負担も考え、スポンサー企業を獲得していかなければならないと強く思っているところです。また、昨年度の実証事業においては、参加生徒の保護者と連絡を取ることが難しかったという課題がありました。</p>
根本委員	<p>現在のプランについて、本当に実現できるのか、という疑念があるのと、持続可能であるのかということ。また、今は立ち上げの時期なので力を入れて行っているが、果たして指導者を継続して確保できるのか。事業を起すには「ヒト・カネ・モノ」が必要になってくると思います。「モノ」については学校施設を活用すればどうにかなると思いますが、「ヒト・カネ」については、結構厳しい部分があると思います。先進的にやるのはすごく良いことで、上尾市の状況について聞かれることはよくありますが、内容を伝えると、本当に大丈夫なのか、平日はどうするのか、といった意見をかなりいただきます。国の方も、平日については、まだ言及はしておりませんが、こちらについても、「いつまでに平日を移行する」といったことがはっきりできると良いと思います。現場の教員も、「どうせやるな</p>

ら平日もなくしてほしい」という意見が多いようです。休日のみ移行することで、生徒指導などの負担が増えるのではないかという意見も多いです。中体連への大会参加方法についても、検討しなければいけないかなと思っています。土日に学校部活動を行わないのであれば、指導者も団体も違ってくることもあるので、もう野球、サッカーなどの団体種目については、中体連主催の大会を実施しなくても良いのではないかとも思います。また、指導がうまくできないのであれば、やる必要がないのではないかとも考えます。個人種目のみの大会実施、ということも検討しながらやる必要があるかもしれません。

永井委員

昨年度、合唱のチャレンジ事業を実施させていただきました。中学校部活動で合唱部があるのは一校のみのため、参加対象に対する周知の方法の工夫が必要と考えています。生涯学習といったことも視野に入れると、このような取組はとても意義があると考えます。

宮田委員

地域クラブ活動に対して高い意欲をもつ子供がよく参加していますが、地域格差は否めないと思います。参加費を払えずに断念している家庭もあるように聞いています。今後、どう対応していくのか検討が必要だと思います。また、今年度は、土曜日が学校部活動、日曜日が地域クラブ活動ということで、土日の両方とも活動し、子供たちが休日に休めていないという現状は、課題であると認識しています。

只隈委員長

受益者負担の問題は、本事業とは切り離せない問題です。地域格差の問題もあります。委員より定義された意見については、事務局でしっかり対応をお願いできればと思います。

只隈委員長

次に、協議に移ります。

最初に（１）令和７年度事業計画についてです。事務局より説明願います。

事務局

協議（１）に先立ちまして、令和７年度事業計画について、御説明いたします。

本資料３頁を御覧ください。

最初に、現状における主な課題と今後の解決策を記載しております。

本課題につきましては、令和６年度の各事業の実施を通して、抽出した課題と解決策の案となります。

課題は大きく5点となります。

- ①実施主体団体（指導者）及び会場の確保
- ②「部活動地域移行推進事業」に対する教職員・保護者・地域（関係団体）の理解促進
- ③上尾市英語クラブ「イングリッシュサロン」の持続可能な体制整備
- ④困窮家庭への具体的支援策の整備
- ⑤地域クラブによる大会参加の在り方に関する検討

でございます。

続いて、別冊資料②を御覧ください。「令和7年度版 AGE O地域クラブ開始に向けた開始イメージ」でございます。こちらは、現時点までの取組、取組を通して抽出した課題、課題を解決するための手立て、そして今後の方向性をまとめたポンチ絵となります。

それでは、各事業について、補足をさせていただきます。

本資料3頁にお戻りください。今年度の事業計画を一覧にしてまとめたものでございます。いくつかの事業を抽出して御説明いたします。なお、地域クラブ活動実証事業につきましては、この後の協議（2）で扱いますので、ここでの説明は割愛させていただきます。

はじめに6頁（1）令和7年度 上尾市立中学校部活動地域移行推進協議会の開催についてでございます。昨年度末での委員任期満了をもちまして、先程、今後2年間の委員を委嘱・任命をさせていただきました。今年度協議会における主な協議内容につきましては、大きく『AGE O地域クラブ』完全実施に向けた課題と解決策について」を想定してございます。

次に（2）部活動地域移行推進タスクフォースについてでございます。今年度、教育委員会では、これまでの会議体だけで、現時点で抱える課題の解決は困難且つ、さらなる学校ベースでの検討の必要性があることを鑑み、令和8年8月の「AGE O地域クラブ」完全実施に向けた多様な課題解決を図るための組織として、部活動地域移行推進タスクフォースを、一時的に設置いたしました。

タスクフォースで取り扱う内容につきましては、「平日」の部活動地域移行に関することや、「休日」と「平日」の連携に関すること等を予定しています。構成委員につきましては、指導課長をリーダーとして、委員を各校の主幹教諭等に任命したところでございます。

次に資料9頁（4）保護者宛通知「学校部活動の地域クラブ活動への移行に向けた取組について（お知らせ）」を御覧ください。

別冊資料④が、該当資料となります。今年度4月に、市内中学校全保護者様を対象に、部活動地域移行推進事業に関する保護者の理解を促進する

	<p>ために、配布いたしました。</p> <p>続いて（５）教職員用リーフレットについて御覧ください。今年度、新たに市内小・中学校に在籍する教職員に対する積極的な情報提供、事業へのさらなる理解を促進するため、リーフレットを作成することといたしました。なお、リーフレットの内容を補足する動画配信も実施することとしております。掲載内容といたしましては、「今どのような内容を検討しているのか」「教職員に対し実施したアンケート結果はどうだったのか」等、リアルタイムでの情報提供を行うこととしております。</p> <p>なお、（６）保護者用リーフレットにつきましては、別冊資料⑥のとおり、昨年度に引き続き、定期的に配布してまいります。</p> <p>その他、「上尾市地域クラブ活動ミーティング」の継続実施、各種研修会・シンポジウム等への参加、各種調査の実施等につきましては、資料で御確認ください。</p> <p>以上となります。</p>
只隈委員長	<p>ただいまの事務局の説明について、御質問がございましたら、お願いいたします。</p>
齋藤委員	<p>アッピー部活動コーチ・サポーター事業について、吹奏楽においても複数人の配置があるようですが、このような、専門的な知識をもつ指導者を募集できる体制整備は大変有意義なものであると考えています。今後も、地域の中から、学校教育に貢献したいという方々を発掘することが重要であると思います。</p>
小林委員	<p>スポーツ少年団には、野球、サッカー、バスケットボール、バレーボール等があり、生涯に通じる生きる力を身に付けることを目的に活動しています。</p> <p>本事業に対しては、「教員の働き方改革のため」と理解している保護者の方々も少なくなく、保護者用リーフレットも含め、このような良い取組を理解できていない保護者への理解の促進が課題であると感じます。私も、部活動の地域移行によって、上尾が衰退するのではないかと心配していましたが、よく考えられていることを知りました。</p>
只隈委員長	<p>保護者用リーフレットは、全保護者に配布しているのでしょうか。</p>
事務局	<p>学校メール配信システム「さくら連絡網」を利用して、市内小・中学校</p>

	<p>全保護者に配布しております。</p>
小林委員	<p>リーフレットの配布については認識しておりますが、部活動の地域移行について、詳しく知らない人も多いようです。</p>
高山委員	<p>学校内でのまとめ、思考の統一、知識、情報が重要な要素になると考えます。その上で、今年度、新規に立ち上げた「部活動地域移行推進タスクフォース」が重要な役割を果たしていくと思いますが、「部活動地域移行推進タスクフォース」は、どの程度の頻度で開催されるのでしょうか。</p>
事務局	<p>5、6、7、9、11、1月の、年間6回の開催を計画しております。</p>
只隈委員長	<p>部活動の地域移行を推進していく上で、「部活動地域移行推進タスクフォース」は、重要なミーティングであると考えます。 教員への周知などについてはいかがでしょうか。</p>
根本委員	<p>通知等に目は通しているものの、先行き不透明な部分があるように感じている教員もいるようです。</p>
只隈委員長	<p>現場の先生方への理解促進については、昨年の課題にも挙がっていたとおりです。</p>
高山委員	<p>すでに、5、6月に「部活動地域移行推進タスクフォース」を実施しているようですが、どのような状況だったでしょうか</p>
事務局	<p>教育委員会と学校現場における温度差が心配ではありましたが、平日と休日の連動を主な協議題とし、平日と休日の地域移行を同時に行うことの可能性等について、活発な協議を行うことができました。出席者から、現場感覚の話聞いたことは有意義でした。</p>
只隈委員長	<p>上尾市は、部活動の地域移行について先端を走っていると認識していますが、課題があることも事実です。引き続き、本協議会において、様々な視点から意見を出していくとともに、タスクフォースでの積極的な協議についてもよろしくお願いします。</p>
宮田委員	<p>「AGEO地域クラブがどのように大会に参加するのか」が、教員の興</p>

<p>只隈委員長</p>	<p>味関心のあるところです。学校部活動を大会参加の主体の基本とし続ける限り、学校部活動に練習試合等の強化の機会が必要になります。顧問となる教員の気持ちを考えると、地域クラブから中体連の主催大会に参加できる環境整備が必要と考えます。</p> <p>続いて、(2) 令和7年度地域クラブ活動実証事業について協議いたします。事務局より、説明願います。</p>
<p>事務局</p>	<p>(2) 令和7年度地域クラブ活動実証事業について説明いたします。</p> <p>本資料11頁、資料3を御覧ください。令和7年度地域クラブ活動実証事業計画についてでございます。</p> <p>別冊資料③下段の記載のとおり、今年度も「AGEO地域クラブ」実証事業と「イングリッシュサロン事業」の2本立て、必要に応じて「チャレンジ事業」を実施する計画を立てております。</p> <p>「AGEO地域クラブ」実証事業につきましては、「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針」に基づくAGEO地域クラブ運営体制の完全構築を見据えて実施いたします。</p> <p>「イングリッシュサロン事業」につきましては、魅力と地域の特色ある地域クラブの在り方を追求しつつ、「将来的なAGEO地域クラブ合流も見据え、持続可能な実施体制の構築も同時に実施いたします。</p> <p>それでは、各事業について、御説明いたします。</p> <p>まず、「AGEO地域クラブ」実証事業について説明いたします。</p> <p>本事業は、今年度も国費を活用した事業となります。令和7年度は、AGEO地域クラブの設置種目について、スポーツだけでなく、文化芸術種目につきましても設置していることから、申請は、スポーツ庁及び文化庁にそれぞれ申請いたしました。</p> <p>今年度も、上尾市教育委員会が「事業主体」として、各種提案、立案等を実施し、AGEO地域クラブの実際の運営を、NPO法人サンワエナジークラブに業務委託を行った上で、その全体の管理・運営を任せております。</p> <p>続いて実証の具体について、説明いたします。別冊資料⑦令和7年度「AGEO地域クラブ」実証事業実施要項を御覧ください。今年度は、昨年度に引き続き受益者負担の導入に取り組むとともに、種目数、拠点数を拡大した形式で実証に取り組みます。</p> <p>実施要項2ページに、開設しました種目を掲載してございます。7月よりバドミントンを開設できることになりましたので、現時点で20種目2</p>

5 拠点での実証となっております。

別冊資料⑧は、実際に生徒に配布した参加者募集要項になります。

今年度の実証は、すでに開始しております。実証の運営体制は実施要項 3 頁に記載しております。4 頁には、実施に係る詳細を記載いたしました。昨年度に比べ、活動の幅を拡大し、より完全実施に近い、多様な取組が進められればと考えております。

参加者募集につきましては、参加者募集要項の電子及び紙媒体での配布、参加者募集に係る説明用動画の配信をもって実施いたしました。

また今年度も実証の 1 つとして、専用の連絡ツール、キャッシュレス機能を搭載したアプリを活用した地域クラブの運営を行っております。今年度は、スposルというアプリを採用いたしました。

さらに、保険につきましても、地域クラブ専用の補償を適用しております。

また、各指導者に対する指導者謝金の金額等を記載しております。

さらに、今年度も一部種目において、希望する教員が地域クラブでの指導従事を希望した場合の対応について、テストケースを続けることとしております。

本資料 1 3 頁を御覧ください。(6) ホームページ・SNS の活用についてでございます。

今年度は、昨年度開設いたしました教育委員会ホームページに加え、AGEO 地域クラブ統括コーディネーターが運営する「AGEO 地域クラブ」のホームページ、Instagram 等 SNS の活用を通じた広報を行っております。

AGEO 地域クラブ統括コーディネーターが運営する「AGEO 地域クラブ」実証事業ホームページでは、今年度の実証事業に御協賛いただいている企業のホームページバナー広告の掲載や、指導者専用ページの開設等を行っております。

「AGEO 地域クラブ」Instagram では、各クラブの活動の様子について、指導者等が撮影した動画や、指導者のメッセージ、補足等を掲載しながら、クラブの広報活動を行っております。

1 4 頁をご覧ください。令和 7 年度 AGEO 地域クラブ「パートナー企業」の一覧でございます。

今年度の実証事業では、「企業パートナーシップ制度」を本格運用し、サンワエナジークラブを通じた協賛企業の獲得に力を入れて取り組んでおります。

こちらは、5 月 3 0 日現在の協賛企業等で、現時点の協賛額は「9 5 万

円」となっております。

今後も、参加者による受益者負担額を抑えること、活動の充実に資すること等を目的に、地元企業等の皆様からの御支援を募ってまいりたいと考えております。

参加申込者につきましては、現時点で700名程度の市内小・中学生にお申し込みをいただいております。中学1年生が最も多く、次いで中学2年生となっております。

今年度は、3年生や一部種目で小学4・5・6年生も参加対象としており、資料にはそれぞれの割合を示しております。

男女別割合につきましては、男子が63%と多く、女子は37%となっております。

昨年度に引き続き参加いただいている生徒の割合につきましては、37パーセントとなっております。

以上「AGEO地域クラブ」実証事業について簡単に説明させていただきました。「AGEO地域クラブ」実証事業では、既存の学校部活動に加え、新たな種目を地域クラブに設置し、地域の指導者を確保することで、子供たちのニーズに応え得る地域クラブとなること。企業パートナーシップ制度や困窮家庭支援制度を導入するとともに、低廉安価な参加費額設定の限界を検証すること。統括コーディネーターによる運営やクラブ運営専用アプリを導入し、安心安全な運営体制を構築すること。そして、教員の兼職兼業テストケースを実施し、令和8年8月以降、地域クラブでの指導を希望する教員の受け入れ態勢を万全に整えること等を、「AGEO地域クラブ」実証事業の実施を通して、目指してまいりたいと考えております。

次に、上尾市英語クラブ「イングリッシュサロン」事業について、御説明いたします。上尾市英語クラブ「イングリッシュサロン」は、市内の中学生を対象として、誰でも、気軽に「生きた英語」を楽しめる空間を提供することをコンセプトに、ネイティブスピーカーとコミュニケーションを楽しむ英会話活動です。

上尾市内全小・中学校にALTを派遣している株式会社ジョイトークイーストジャパンに業務委託をしております。今年度は、毎月2回、土曜日の午後に、市内4会場、上尾公民館、原市公民館、大石公民館、大谷公民館にて活動しております。

活動内容としては、ゲーム、英語劇、ディベート、英語の歌、英語による動画制作、などを、参加者のニーズに応じて行っております。

また、今年度から、1回500円の参加費用を徴収して活動を実施しております。

市内全中学校、全生徒に対して募集を行いました。塾や受験対策とは異なる、英会話に特化した活動であることから、非常に多くの反響をいただいております。

令和7年度の拠点別の参加申込者数については、各拠点公民館の定員20名程度に対し、おおむね想定した人数が集まっています。

追加募集も行い、現時点では合計89名の申込をいただいております。

各会場、最低2名のネイティブスピーカーに参加してもらっていますが、あまり生徒の人数が多すぎても一斉授業のようになってしまうため、現状適正な人数が保たれていると考えます。

なお、本資料17頁に記載のとおり、今年度も、次年度の完全実施を見据え、必要に応じてチャレンジ事業にも取り組んでまいります。

協議(2) 令和7年度地域クラブ活動実証事業計画に係る説明は以上となります。

只隈委員長

委員の皆様から、御意見をいただきたいと思っております。いかがでしょうか。

金子委員

上尾市英語クラブ「イングリッシュサロン」について、参加費が受益者負担となったことで、参加生徒が集まるかどうか、継続性できるかどうかについて心配がありましたが、多くの生徒が集まっているようで良かったです。英語教育に興味関心が高い生徒にとって、良い挑戦の場となっていると感じています。

根本委員

別冊資料③では、「令和8年8月から完全実施」と謳われていて、いろいろな意味合いを込めて予定という文言を使っていると思いますが、現場の教員は、8月以降は、休日は部活をやらなくて良いという意識が高くなっている状態です。万が一、休日にも部活動を実施し続けるとなったときに、やりたくない人がやらない環境を作っていただければと思います。また、現在、兼職兼業を申請した教員が時間外在校等時間が長く、申請がとおらない事例がありました。やりたい人ができない状態もあります。あつてはならないことですが、地域クラブで兼職兼業をしたいから本業をおろそかにする教員がいた場合には、しっかりと指導をしていなければならぬと思っています。本業をおろそかにし、地域クラブの兼職兼業に従事することは違うかと思っておりますので、学校が注視していかなければならないと思っております。令和8年度の動向については、新入生やその保護者には、今年度中に新入生説明会等で周知していかなければならないと思っております。かなり急ピッチで進めない、タイムスケジュール的には厳しいかもしれま

	<p>せん。現場の管理職からすると、実際に開始にならなかった時に、教員への伝え方が難しいかなと思います。そのあたりも御検討いただければと思います。</p>
宮田委員	<p>参加者数において、学校格差はないでしょうか。もし、中学校ごとの参加率が分かれば教えていただきたいです。</p>
事務局	<p>すべての中学校において、おおむね、10%前後の参加率となっております。</p>
只隈委員長	<p>上尾市の予定としては、令和7年度で実証期間が終了、令和8年8月に休日の学校部活動の地域移行を完全実施としておりますが、国の推進イメージを見ると、当初の国のイメージよりも進捗状況は「やや遅れている」印象であり、逆に、上尾市の進捗が国の推進イメージより早いことで、心配になる先生方もいると思います。「令和8年8月」という目途をもちながらも、部活動地域移行推進タスクフォース等を活用しながら、1つ1つの課題に向き合い、焦らずに課題を解決して行ってほしいと思います。</p>
事務局	<p>事務局といたしましては、基本方針のとおり、現在の目途は令和8年8月としておりますが、想定よりも国の動きが遅いこと等を鑑み、課題解決が図れないうちに地域移行が実施されることがないように、1つ1つの課題に真摯に向き合い、解決していきたいと思います。</p>
只隈委員長	<p>それでは、皆様から様々な御意見をいただきましたが、本協議会としては、ここで出た御意見を反映したうえで、令和7年度事業及び地域クラブ活動実証事業について進めていただくということで御異議ございませんか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
只隈委員長	<p>長時間に渡り、貴重な御意見ありがとうございました。また、進行への御協力ありがとうございました。</p>